

会議の名称	(番号) 2 - 15	墨田区入札等外部審査委員会
開催日時	平成29年6月27日(火)午後2時から午後3時45分まで	
開催場所	入札室(庁舎8階)	
出席者数	委員 3名 区 5名 事務局 4名	【委員】 碓井光明 須田徹 阿部かおり 【区】 総務部長 契約課長 営繕課長 都市整備課長、厚生課 臨時給付金主査、教育委員会事務局庶務課技術主査 【事務局】 契約係長 契約係主査 契約係担当職員
議題	1 入札及び契約手続の運用状況等の報告(平成28年度下半期分) 2 抽出案件の審査	
配付資料	1 平成28年度下半期発注案件一覧表・受注業者別受注件数等 2 平成29年度第1回墨田区入札等外部審査委員会(平成28年度下半期発注案件分)抽出案件一覧表等	
会議概要	1 入札及び契約手続の運用状況等の報告(平成28年度下半期分) 別添資料のとおり、墨田区入札等外部審査委員会の組織及び運営に関する要綱(以下「要綱」という。)第2条第1号の報告を受けた。 2 抽出案件の審査 須田委員が抽出した次の入札及び契約について、要綱第2条第2号の審査を行った(主な質疑、意見等は、別紙のとおり)。 なお、これらの入札及び契約につき、要綱第2条第3号に規定する意見具申を行うべき不適切な点等は認められなかった。 (1) すみだ福祉保健センター空調設備改修工事 (2) 曳舟たから通り街路築造工事(その1) (3) 社会福社会館外壁改修工事 (4) 小梅小学校ガラス飛散防止対策その他改修工事 (5) 墨田区臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業の実施に関する業務委託	
所管課	総務部契約課	

【配付資料は掲載省略】

1 小梅小学校ガラス飛散防止対策その他改修工事

委員の質疑、意見等	区の回答等
<p>工事の内容は、ガラス飛散防止フィルムの貼付であって、特定の業者にしかできないという性格のものではない。随意契約とした理由は何か。</p>	<p>学校という施設の性格上、その施工に当たっては、工事スケジュールの調整、緊急時の対応等について柔軟かつ迅速に対応できることが必要となるほか、短時間の作業を複数回繰り返すこととなるので、できるだけ近隣の業者と契約しなければ施工上の支障が生ずる。したがって、区内に営業所を有する者に施工させることが必要となるが、区内に営業所を有し、この工事に係る入札参加資格を有しているのは2者しかいない。</p> <p>こうしたことから、当該校でのガラス工事の実績を有し、比較的近隣に営業所を有する業者を選定し、随意契約の方法で契約を締結した。</p>
<p>この工事に係る発注業種である飛散防止工事の入札参加資格を有する者が極めて少数であるのは、どのような理由が考えられるか。</p>	<p>それほど入札数の多い工事ではないことから、入札参加資格を申請する業者が少ないと考えられる。</p>
<p>地方自治法施行令第167条の2第1項第6号を随意契約の根拠としているが、この契約が当該規定に該当するのか疑問である。同号にいう「競争入札に付することが不利」について、明確な定義はあるか。</p>	<p>「競争入札に付することが不利と認められる」かどうかについては、個々具体的な事実に基づき判断するほかない。</p>
<p>地方自治法施行令第167条の2第1項第6号の「競争入札に付することが不利」とは、金額的な面だけを捉えたものではないと理解して良いか。</p>	<p>そのように認識している。</p>
<p>契約金額はどのように決定したか。</p>	<p>工事担当課で積算基準により積算した工事費に基づき予定価格を算定し、業者の見積金額が予定価格の範囲内であったので、見積金額により契約を締結した。</p>
<p>特定の業者と随意契約の方法で契約を締結することは、工事担当課の意向のみで決定されるのか。</p>	<p>工事担当課から、当該業者と契約する必要がある理由を示した業者指定理由書が契約締結請求書とともに契約課に提出され、契約課において、当該指定理由等の妥当性を判断することになる。</p> <p>したがって、担当課の判断だけで特定の業者と</p>

	契約を締結することはない。
--	---------------

2 墨田区臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業の実施に関する業務委託

委員の質疑、意見等	区の回答等
委託業務の内容は、帳票等の印刷や封入作業などの単純で機械的な作業が中心になると思われるが、随意契約とした理由は何か。	委託業務には、受給資格の事前審査やコールセンター業務も含まれている。その審査の際に扱う税務情報は非常に細かく、システムだけでは対応できない部分もあるので、区職員とともに資格の確認を行ったり、申請者へ説明を行う業務も含まれる。また、給付金の給付対象が様々な年齢層を対象としているので、ユニバーサルデザインを組み込んだ帳票を作成する必要がある。加えて、個人情報扱うため、情報管理の観点から信頼性も必要となる。そして、これらの事務を一括で行える事業者も多くはない。 こうしたことから、平成26年度の事業開始時に、プロポーザル方式でこの事業者を選定した。
プロポーザルにおける事業者選定審査会では、どのような基準で事業者を評価しているのか。	事業者の信頼性、実績、提案金額等を総合的に評価している。
事業者選定審査会は、外部委員が含まれる区長の附属機関なのか。	内部の職員で構成され、外部委員はなく、区長の附属機関でもない。
業務委託の事業者を選定する審査会を内部の職員だけで構成していることに問題はないか。職員のみで審査を行ってはいは、審査が公正に行われているかどうかについて、外部から確認することができない。 他の自治体では、外部の委員を入れて長の附属機関としているところもある。	他の自治体の状況も参考に、業務委託の事業者を選定する審査会の委員構成やあり方について研究したい。
工事のように明確な積算基準がない中、予定価格はどのように算定したのか。	当該事業者からの見積り金額を予算に計上し、その額を予定価格とした。

3 すみだ福祉保健センター空調設備改修工事

委員の質疑、意見等	区の回答等
入札参加者が2JVで、そのうち1JV	施設の性質上、休館ができないので、午後5時

<p>が辞退している。また、空調工事としては、落札率が高いようだが、どのような事情があったと考えられるか。</p>	<p>15分から翌日午前8時30までの夜間工事となる。夜間の施工体制が組めないために参加者が少なかったと推測できる。</p> <p>また、落札率については、夜間工事となるが故、参加者が少数となることを想定し、比較的高い金額でも落札できると入札者が判断した可能性はある。</p>
<p>入札参加者が少数であったことについて、入札参加資格要件の設定に問題がなかったか検証はしたか。区内業者より区外業者の要件を厳しく設定したことが影響したとは考えられないか。</p>	<p>区外業者に係る第1構成員の資格要件が特段厳しかったとは考えていない。第2構成員を区内業者に限定したことがJVを結成しにくくした可能性はある。</p>
<p>地元業者を優先するにしても、競争性を確保する観点から、優先する地元業者の範囲を区内に限定するのではなく、近隣区を含めて考えるなどの工夫があっても良いと考えるがどうか。</p>	<p>競争性のない入札が頻発したり、入札不調が続くといった状況がみられるようであれば、そのようなことも検討したい。</p>
<p>JVの結成を入札参加の条件としている理由は何か。</p>	<p>工事の安定的施工、区内業者育成等の観点から、区の要綱で、1億円以上の設備工事については、JVにより施工することとしている。</p>

4 曳舟たから通り街路築造工事（その1）

委員の質疑、意見等	区の回答等
<p>落札者は、受注工事の件数が多く、受注した工事の落札率等も比較的高いようだ。落札率等が99.99%や100%のものもあるが、どのように受け止めているか。</p>	<p>予定価格に対する契約金額の割合が100%の北斎通り説明版設置工事は、いわゆる不調随契である。不調随契の場合は、区からお願いして施工してもらおうという性格が強く、事前に予定価格も把握していることから、予定価格と同額で契約を締結したとしてもやむを得ないし、不自然でもない。</p> <p>また、全体的に見て、この落札者の受注件数が突出して多いとは認識していない。</p>
<p>希望型指名競争入札であり、全て応募者を指名しているにもかかわらず、辞退する業者がいるというのはどのような事情が考えられるか。</p>	<p>入札参加の希望（申請）は、発注図書を入手する前に行う仕組みとなっている。したがって、指名通知受領後に発注図書を入手し、これを元に積算を行った結果、予定価格を超過したために辞退</p>

	<p>するということは珍しくない。また、入札参加を希望したものの、その後何らかの事情で人員の確保が困難になったということも有り得る。</p>
--	--

5 社会福社会館外壁改修工事

委員の質疑、意見等	区の回答等
<p>落札率が100%である。かつては、ダンプ受注等低価格での入札が問題となることが多かったが、最近の傾向として、落札率が100%付近となる入札も珍しくないのか。</p>	<p>近年の傾向として、建築工事の入札については、100%に近い落札率のものが目立っている。この工事について言えば、老朽化した施設の頻発する雨漏りを補修するもので、既存の塗装を剥がして雨漏りの原因となるクラックを自ら確定して補修しなければならず、リスクが高い工事であることが影響した可能性がある。</p>